

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期財務情報(連結)

平成 16 年 2 月 24 日

上場会社名 第一交通産業株式会社

上場取引所 福岡証券取引所

コード番号 9035

本社所在都道府県

(URL <http://www.daiichi-koutsu.co.jp>)

福岡県

代 表 者 役職名 代表取締役社長

氏 名 田中 亮一郎

問合せ責任者 役職名 取締役経理部長

氏 名 垂水 繁幸

TEL(093)511 - 8840

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況

連結範囲及び持分法の適用の異動の有無 有 連結(新規)5社(除外)1社

連結子会社数 91社 持分法適用非連結子会社数 -社 持分法適用関連会社数 -社

公認会計士又は監査法人による関与の有無 無

当期が四半期情報開示の初年度となりますので、前年同期に関する数値については記載しておりません。

2. 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期の業績概況(平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期(当期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	51,000	2,977	2,486	2,885
15年3月期(参考)	71,458	4,233	3,317	1,065

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	295 40	-
15年3月期(参考)	99 84	-

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	118,958	12,172	10.2	1,246 20
15年3月期(参考)	114,355	15,081	13.2	1,534 83

(注) 期末発行済株式数(連結) 15年12月期 9,767,419株 15年3月期 9,767,419株

期末自己株式数 15年12月期 31,381株 15年3月期 31,381株

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	3,476	4,620	2,417	13,212
15年3月期(参考)	4,026	4,911	703	11,607

3.平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	70,000	2,940	2,820	288 71

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、前回(平成15年12月25日)公表の通期の業績予想の変更はありません。

業績見通しは、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

経営成績及び財政状態

(注) 当期が四半期情報開示の初年度となりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績

当第3四半期(平成15年4月1日～平成15年12月31日)におけるわが国経済は、株式市況や企業収益の改善、設備投資への改善傾向等、景気回復への明るさが見受けられましたが、個人消費につきましては、失業率の高止まりや人件費の抑制といった厳しい環境から、依然として低迷したまま推移しました。

タクシー事業

当社グループ(当社及び連結子会社。以下同じ。)の主力事業であるタクシー事業におきましては、各営業地域の需給バランスをもとに、タクシー車両の増減車等による効率的配置を実施し、この結果、当第3四半期中に402台(愛知県及び宮城県での買収に伴う215台のほか、主に福岡県、東京都、長野県、石川県、北海道)増加し、12月31日現在のタクシー認可台数は5,825台となり、タクシー事業の売上高は32,880百万円となりました。

また、当第3四半期における主な取組みは以下のとおりです。

- ・道路交通法改正による飲酒運転への罰則強化や、急な病気等での代行運転需要に備え、全国的に運転代行サービスを推進し、毎月6,000件以上のご利用を頂いております。
- ・在宅介護・移送介助の「第一あんしんサービス」部門では、山口県内において5月の岩国市に続いて10月に下関市に営業所を開設し、サービスエリアの拡大を図るとともに、地域密着型介護サービスによりご好評を頂いております。
- ・従来のJALマイレージバンクとの提携に加え、福岡地区においては、6月から(株)博多大丸との提携により、ポイントサービスを開始し、ご好評を頂いております。
- ・乗務員の労働環境の向上を図るため、同業他社に先駆けて4月から北九州市内に企業内託児所を設置いたしました。
- ・営業所の新設・増車に伴い経費が増加しましたが、人員の適正配置や事務管理部門の統合などにより経費の削減を図っております。

不動産事業

(分譲事業部門)

マンション事業においては、10月に北九州地区の「グランドパレスグラリッシュ浅川」、福岡地区の「アーバンパレスリベル大濠」「アーバンパレスラガール城南」「アーバンパレス香椎参道ソフィールアベニュー」、山口地区の「アーバンパレス桜馬場」、11月に鹿児島地区の「グランドパレス小松原」をそれぞれ販売開始し、戸建事業では、12月からミニ分譲団地(5～10区画)の販売促進部門を設置し、推進しております。

分譲事業部門の売上高は、12月における北九州地区の分譲マンションの竣工引渡し及び長期販売物件の販売促進に注力したこと等により、9,292百万円となりました。

(賃貸事業部門)

8月に横浜市内の高収益物件2棟の買収や北九州市内での管理物件の増加を図るとともに、賃料滞納者への早期対応により、空室期間の短縮、入居率の向上を図りました。また、前連結会計年度における東京都港区・横浜市・大阪市等での賃貸ビルの増加が寄与し、賃貸事業部門の売上高は2,119百万円となりました。

以上の結果、不動産事業の売上高は11,411百万円となりました。

自動車関連事業

自動車関連事業においては、ランドローバー車の販売を取り止めた一方で、5シリーズがモデルチェンジしたBMW車、新色追加のMINI車とも販売が好調に推移し、売上高は3,065百万円となりました。

金融事業

7月に宮崎支店の新規開設及び小倉支店と黒崎支店の統合など営業体制を強化するとともに、新規顧客開拓に注力したことにより、金融事業の売上高は1,608百万円となりました。

その他事業

その他事業の売上高は、第一オーケイパーキング(株)を連結の範囲に含めた影響等により2,035百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期の当社グループの連結売上高は51,000百万円となりました。損益面につきましては、連結経常利益は2,486百万円となりましたが、投資有価証券評価損700百万円や退職給付制度の一部終了に伴う損失及び未認識債務の一括費用処理5,934百万円など6,834百万円の特別損失を計上した結果、連結純損失は2,885百万円となりました。

(2) 財政状態

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,605百万円増加し、13,212百万円となっております。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、当第3四半期は3,476百万円となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純損失は4,296百万円でありましたが、退職給付引当金の増加による増加6,780百万円、営業債権の減少による増加3,259百万円、仕入債務の減少による減少3,541百万円、タクシー車両の減価償却及び連結調整勘定の償却を中心とする償却費用2,185百万円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、当第3四半期は4,620百万円となりました。これは、主に、タクシー車両の購入を中心とした有形・無形固定資産の取得による支出5,116百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、当第3四半期は2,417百万円となりました。これは、主に、長期借入金による収入13,975百万円及び長期借入金の約定弁済による支出13,386百万円と短期借入金の純増による収入2,030百万円によるものであります。

(3) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

厚生年金基金制度からの一部脱退

当社のタクシー事業所38ヶ所及び連結子会社31社は、タクシー事業所を主として、第一交通グループ厚生年金基金の一部変更による脱退について、平成15年10月3日に九州厚生局長から認可を受けました。当社グループにおいては当該一部変更について退職給付制度の一部終了として会計処理を行うこととなりますが、今回の厚生年金基金制度からの大量脱退により退職給付会計制度の適用初年度に在籍した従業員の未認識会計基準変更時差異残高が実態に合致しなくなったこと、当該一部終了時点の未認識過去勤務債務残高及び未認識数理計算上の差異残高は多額で異常なオフバランス債務となったことから、これらの未認識債務残高を一括費用処理することといたしました。

当該事象の損益及び連結損益に与える影響額(連結財務諸表)

厚生年金規約の一部変更により加入員数が変更前の4,553名から484名となることによる退職給付制度の一部終了に伴う損失1,100百万円及び、上記未認識債務の一括費用処理に伴う損失4,834百万円が発生し、それぞれ当第3四半期に特別損失として計上しております。

第3四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成15年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産	52,105	43.8	53,746	47.0
現金及び預金	16,604		15,072	
受取手形及び営業未収金	13,432		16,558	
たな卸資産	19,666		20,000	
その他	2,733		2,390	
貸倒引当金	330		275	
固定資産	66,852	56.2	60,609	53.0
有形固定資産	53,522	45.0	48,872	42.7
建物及び構築物	15,886		14,024	
土地	34,593		32,251	
その他	3,041		2,596	
無形固定資産	1,020	0.9	1,228	1.1
投資その他の資産	12,309	10.3	10,508	9.2
投資有価証券	2,127		2,375	
長期貸付金	1,531		1,676	
再評価に係る繰延税金資産	2,091		2,143	
その他	7,534		4,956	
貸倒引当金	976		643	
資 産 合 計	118,958	100.0	114,355	100.0

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (平成15年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%
流動負債	42,537	35.8	44,542	39.0
支払手形及び営業未払金	5,351		8,281	
短期借入金	31,259		29,947	
賞与引当金	180		465	
その他	5,746		5,848	
固定負債	63,226	53.1	53,800	47.0
長期借入金	50,725		48,036	
退職給付引当金	8,912		2,136	
役員退職慰労引当金	1,024		972	
その他	2,562		2,655	
負債合計	105,763	88.9	98,342	86.0
(少数株主持分)				
少数株主持分	1,022	0.9	931	0.8
(資本の部)				
資本金	2,020	1.7	2,020	1.8
資本剰余金	2,207	1.9	2,207	1.9
利益剰余金	11,050	9.3	14,313	12.5
土地再評価差額金	3,041	2.6	3,114	2.7
その他有価証券評価差額金	3	0.0	277	0.2
自己株式	67	0.1	67	0.1
資本合計	12,172	10.2	15,081	13.2
負債、少数株主持分及び資本合計	118,958	100.0	114,355	100.0

第3四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕		前連結会計年度 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕	
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %
売 上 高	51,000	100.0	71,458	100.0
売 上 原 価	41,774	81.9	58,839	82.3
売 上 総 利 益	9,225	18.1	12,618	17.7
販売費及び一般管理費	6,248	12.3	8,385	11.8
営 業 利 益	2,977	5.8	4,233	5.9
営 業 外 収 益	738	1.5	805	1.1
営 業 外 費 用	1,229	2.4	1,720	2.4
経 常 利 益	2,486	4.9	3,317	4.6
特 別 利 益	51	0.1	36	0.1
特 別 損 失	6,834	13.4	309	0.4
投資有価証券評価損	700		53	
退職給付終了損失	5,934		-	
そ の 他	198		255	
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,296	8.4	3,045	4.3
法人税、住民税及び事業税	1,282		2,130	
法人税等調整額	2,781		234	
差 引	1,499	2.9	1,896	2.7
少 数 株 主 利 益	88	0.2	83	0.1
四半期(当期)純利益	2,885	5.7	1,065	1.5

第3四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕	前連結会計年度 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕
		金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高			
資本準備金期首残高		2,207	2,207
資本剰余金期末残高		2,207	2,207
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高		14,313	13,567
利益剰余金増加高		49	1,065
連結子会社増加に伴う利益剰余金増加高		49	-
当期純利益		-	1,065
利益剰余金減少高		3,312	319
四半期純損失		2,885	-
配当金		195	122
役員賞与		91	82
土地再評価差額金取崩高		72	107
連結子会社増加に伴う利益剰余金減少高		63	-
連結子会社減少に伴う利益剰余金減少高		3	7
利益剰余金期末残高		11,050	14,313

第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕	前連結会計年度 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益		4,296	3,045
減価償却費		1,706	2,193
営業権償却		158	306
連結調整勘定償却		320	502
貸倒引当金の増減額(減少：)		73	57
賞与引当金の増減額(減少：)		289	27
退職給付引当金の増減額(減少：)		6,780	800
役員退職慰労引当金の増減額(減少：)		52	81
受取利息及び受取配当金		75	100
支払利息		1,036	1,384
販売用不動産評価損		-	435
固定資産売却益		51	33
固定資産除売却損		197	143
投資有価証券評価損		700	34
営業債権の増減額(増加：)		3,259	2,605
たな卸資産の増減額(増加：)		254	3,541
仕入債務の増減額(減少：)		3,541	3,434
その他の資産及び負債の増減額		901	776
役員賞与の支払額		92	84
その他の		17	125
小計		6,603	7,196
利息及び配当金の受取額		75	101
利息の支払額		1,004	1,381
法人税等の支払額		2,197	1,891
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,476	4,026
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出		1,602	4,184
定期預金の払出による収入		1,676	4,538
投資有価証券の取得による支出		343	309
投資有価証券の売却による収入		324	174
有形・無形固定資産の取得による支出		5,116	5,395
有形・無形固定資産の売却による収入		309	199
短期貸付金の純増減額(増加：)		127	28
長期貸付による支出		488	833
長期貸付金の回収による収入		803	700
連結子会社株式の取得による支出		36	-
連結子会社株式の取得による収入		-	170
その他の投資の取得による支出		736	417
その他の投資の回収・売却による収入		463	416
投資活動によるキャッシュ・フロー		4,620	4,911
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少：)		2,030	138
長期借入による収入		13,975	19,107
長期借入金の返済による支出		13,386	18,138
自己株式の取得による支出		-	0
配当金の支払額		195	122
少数株主への配当金支払額		6	5
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,417	703
現金及び現金同等物の増減額(減少：)		1,273	181
現金及び現金同等物の期首残高		11,607	11,811
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		360	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		29	21
現金及び現金同等物の期末残高		13,212	11,607

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）

（単位：百万円）

	タクシー事業	不動産事業	自動車関連事業	金融事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	32,880	11,411	3,065	1,608	2,035	51,000	-	51,000
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	199	800	38	-	1,038	1,038	-
計	32,880	11,611	3,866	1,646	2,035	52,038	1,038	51,000
営業費用	31,223	10,827	3,793	1,211	2,045	49,102	1,078	48,023
営業利益又は営業損失()	1,656	783	72	434	10	2,936	40	2,977

前連結会計年度（自平成14年4月1日 至平成15年3月31日）

（単位：百万円）

	タクシー事業	不動産事業	自動車関連事業	金融事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	41,286	22,794	4,065	1,996	1,315	71,458	-	71,458
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	237	894	-	-	1,132	1,132	-
計	41,286	23,031	4,959	1,996	1,315	72,590	1,132	71,458
営業費用	39,167	21,372	4,926	1,584	1,351	68,402	1,177	67,224
営業利益又は営業損失()	2,119	1,659	33	411	36	4,187	45	4,233

(注) (1) 事業区分の方法

グループ内の事業展開を考慮して区分しております。

(2) 各事業区分の主な事業内容

- タクシー事業 一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）
- 不動産事業 分譲住宅の企画及び販売、不動産の賃貸及び管理
- 自動車関連事業 外車・中古車の販売及び自動車の点検・整備等
- 金融事業 貸金業
- その他事業 貸切バスの営業・パーキング事業及び車両の運行管理請負業務等

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期（自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）及び前連結会計年度（自平成14年4月1日 至平成15年3月31日）

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める日本の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外売上高

当第3四半期（自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）及び前連結会計年度（自平成14年4月1日 至平成15年3月31日）

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

営業の状況

(1) 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期	前連結会計年度
タクシー事業	32,880	41,286
不動産事業	11,411	22,794
自動車関連事業	3,065	4,065
金融事業	1,608	1,996
その他事業	2,035	1,315
合計	51,000	71,458

(2) タクシー事業

タクシー事業営業実績

項目	当第3四半期	前連結会計年度
期末在籍車両数	5,825 台	5,423 台
稼働率	91.0 %	89.1 %
走行キロ	248,365,905 km	306,661,816 km
運送収入	32,880 百万円	41,286 百万円
走行1km当たり運送収入	132 円 38 銭	134 円 63 銭

(3) 不動産事業

不動産事業の販売実績は次のとおりであります。

項目		当第3四半期		前連結会計年度	
		数量	金額	数量	金額
分 譲	中高層住宅	戸 318	百万円 7,552	戸 692	百万円 17,821
	戸建住宅	56	1,147	54	1,684
	小計	374	8,699	746	19,505
賃貸		/	2,119	/	2,659
その他		/	592	/	628
合計		/	11,411	/	22,794

分譲住宅の契約実績は次のとおりであります。

当第3四半期

項 目	期首契約残高		第3四半期中契約高		第3四半期末契約残高	
	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額
中 高 層 住 宅	戸 210	百万円 5,057	戸 404	百万円 9,914	戸 296	百万円 7,419
戸 建 住 宅	16	443	58	1,023	18	319
計	226	5,501	462	10,937	314	7,739

前連結会計年度

項 目	期首契約残高		期中契約高		期末契約残高	
	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額
中 高 層 住 宅	戸 286	百万円 7,662	戸 616	百万円 15,216	戸 210	百万円 5,057
戸 建 住 宅	31	987	39	1,140	16	443
計	317	8,650	655	16,356	226	5,501

(4)自動車関連事業

自動車関連事業の売上高の内訳は次のとおりであります。

項 目	車 種	当第3四半期		前連結会計年度	
		販売台数	金 額	販売台数	金 額
外 車 販 売	B M W 車	台 219	百万円 1,079	台 249	百万円 1,202
	M I N I 車	243	592	286	686
	ランドローバー車	6	32	20	98
	そ の 他 外 車	43	93	76	194
	計	511	1,797	631	2,181
その他			1,267		1,883
	合 計		3,065		4,065

(5)金 融 事 業

金融事業の売上高の内訳は次のとおりであります。

項 目	当第3四半期		前連結会計年度	
	金 額	(参考)融資残高	金 額	(参考)融資残高
商 工 ロ ー ン	百万円 797	百万円 4,451	百万円 1,049	百万円 4,564
不動産抵当ローン	566	7,062	636	9,208
そ の 他	244	9	311	8
合 計	1,608	11,523	1,996	13,781